



宗 像

【手力雄】

当日は三十三番ある神楽(全て舞ったら十九時間を要する)の中から、海神に因んで「住吉」、天照大神の岩戸隠れを表現したポピュラーな「手力雄」「鋸女」「戸取」の岩戸三番の計四番の

六月二十一日午後五時より、当大社拜殿(重文)で国の重要無形文化財の指定を受ける宮崎県の高千穂神社の氏子保存会で構成される「高千穂の夜神楽」が奉納され、多くの参拝者が心を奪われた。

今回の奉納は、宗像市内の東海大学附属第五高での、年に一度の芸術鑑賞会において公演することになり、宗像まで行くのだから是非宗像大社へも奉納をと希望し実現した。

会員の皆様は、平素は農業や役場、会社に勤めながら、伝統を保持しようと短時間ではあるが、毎日温習を行い、貴重な神楽を継承しておられるとのことであった。

高千穂神楽奉納

〜 記紀神話の世界 〜

国の重要無形文化財



【鋸女】



ウルトラ出光人、未来を語る。

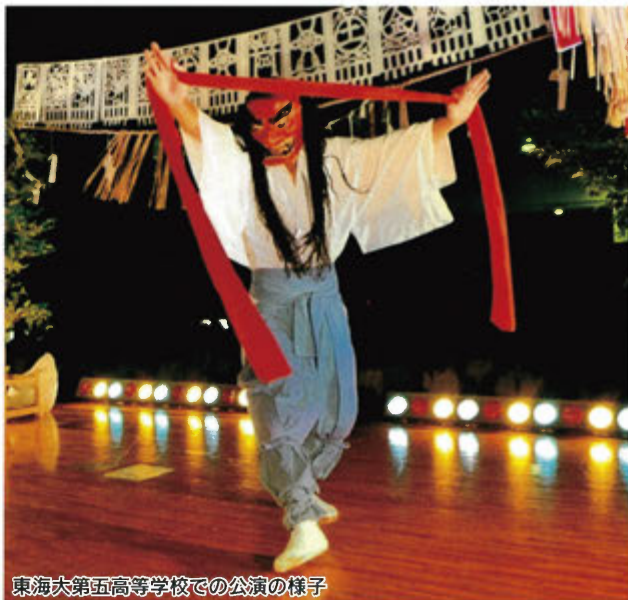
たとえば紙みたいに薄くて省エネルギーなディスプレイや照明をつくる有機EL技術で、世界のお茶の間を変えてみたい。化学農業を使わずに、バイオの力で安全な農畜産物をつくって食の安心に貢献したい。また、これまでの15倍もの菌に有効な抗菌・防かび技術で、清潔で快適な生活をつくりたい。そんな私たちの、そして地球の未来をもっと素敵に変えるためのたくさんの「技」を、ウルトラ出光人たちは今日も磨き続けています。エネルギーの安定供給をはじめとし、潤滑油、機能化学品、機能性樹脂から電子材料、そして環境への取り組みまで様々な事業や活動を通じて先進の技術を培ってきた出光。10年後、20年後のみんなの安心、活力、満足をつくるための活動が今日も、様々な分野で進んでいます。

未来をつくる技がある。

ほんと安心、もっと活力、きっと満足。出光の約束 www.idemitsu.co.jp

二日間、二二五名が参加。クイーンの楠木早紀さん(大分県)が頂点に。

第三十二回 宗像大社小倉百人一首かるた大会



東海大第五高等学校での公演の様子



保存会一同の正式参拝の様子

会の皆様のご隆昌とご健勝を心よりご祈念申し上げます。

神楽が舞われた。
一つの舞が終わわり、次の舞の準備が行なわれる間には、保存会の甲斐栄夫氏が演じられる神楽の解説をされ、熱心に耳をかたむける姿が印象的であった。
午後五時三〇分から始まった舞も、四番終わる頃には七時三〇分を過ぎていたものの、拝観者の熱いアンコールの拍手に剣舞も舞っていた。

独特なリズムに所作、派手な衣装や強烈な面など、宗像では目にするこの出来ない神楽は新鮮な舞にも感じられた。やがて、日が暮れると拜殿に灯された大提灯の灯りが、一層幻想的な雰囲気を出し幽玄な舞に魅了された。
新聞各社の取材も多かったことから、翌日の東海第五高での公演には一般の方も多数訪れたとのこと。高千穂神社、高千穂夜神楽保存

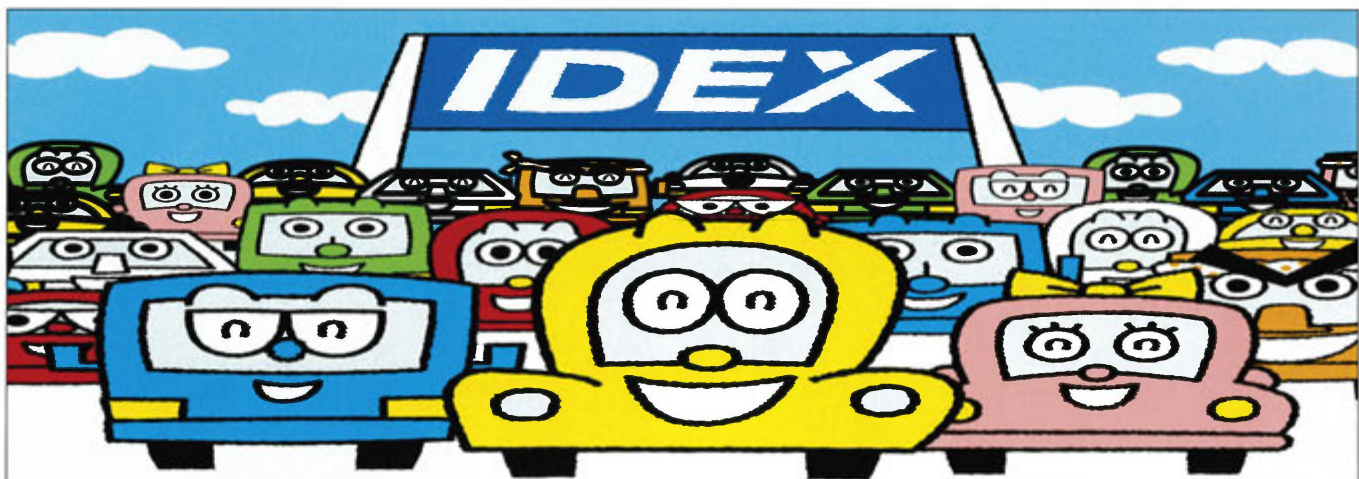


住吉



戸取

神楽を解説される甲斐栄夫さん



株式会社 新出光

〒812-0036 福岡市博多区上呉服町1番10号 TEL(092)291-4134



六月八日・十五日の両日、第三十
二回宗像大社小倉百人一首かるた
大会(主催〃宗像大社、全日本かる
た協会 主管〃九州かるた協会
後援〃宗像市教育委員会)が、当大
社清明殿・齋館にて開催された。
大会一日目、八日は、小・中・高校
生を中心に約一〇〇名が参加し、
D級、初心者級、シニア級で試合が
行われた。各級ともに静寂の中心



力が伯仲し、激しい攻防戦が展開
された。A級の部では、
クイーン(女子日本一)
の称号を持つ楠木
早紀(大分県かるた協

詰まる熱戦が夕刻まで繰り広げら
れた。
大会二日目、十五日は、A・B・C
級(有段者)の試合が行われ、九州
は勿論、遠く関西・関東からも実力
者が集い、総勢一、二、三二名が参加
する中、高いレベルの試合が繰り
広げられた。
特に高段者が参加するA級は実
力が伯仲し、激しい攻防戦が展開

各級の成績は下記の通り。

A級(42名)	優勝 楠木 早紀(大分県かるた協会)
	準優勝 長尾 嘉昭(九州かるた協会)
B級(41名)	優勝 宝勝 春菜(法政かるた協会)
C級(40名)	優勝 宮崎 敬子(熊本県かるた協会)
D級(40名)	
Aパート	優勝 片山 晃会(鹿本高校・熊本県)
Bパート	優勝 杉浦 暢(鹿本高校・熊本県)
初心者の部(62名)	
中学生以上(25名)	優勝 亀井 寛子(大分県かるた協会)
小学生(27名)	優勝 石谷あさひ(三芳かるた会・大分県)
シニア級(10名)	優勝 藤木美千子(行橋かるた会・福岡県)



会所属)さんが順当に優勝した。
本年度も、大会関係者・選手総勢
二百数十名が協力し、盛会裏の内
に大会は終了した。表彰式が終わ
ると、一同互いの健闘を称え合い、
再会を誓い大社を後にした。



お出かけは、おトクでエコな2枚きっぷ、4枚きっぷで。

2枚きっぷで
2回エコ
4枚きっぷで
4回エコ

列車でエコ 2回エコ

新幹線回数券
つばめ2枚きっぷ

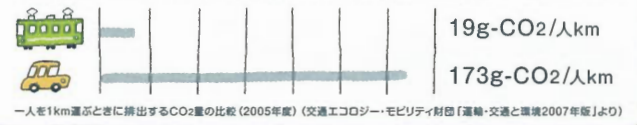
新幹線乗るなら、
これ一枚。

博多～鹿児島中央2時間12分 7,800円

「つばめ2枚きっぷ」1枚あたりのおねだんです。所要時間は最速時分を表記しています。

- ピーク期(7月25日～8月24日、12月26日～平成21年12月12日、3月13日～3月31日)に、指定席タイプの「つばめ2枚きっぷ」で指定席を利用される場合には、列車ごとに指定料金券(大人500円、子ども250円)が必要です。なお、自由席をご利用される場合には、指定料金券は不要です。
- ご乗車前に駅の窓口等であらかじめお買い求めください。(列車内では販売していません。)

列車のCO₂排出量は乗用車の約1/9です。



一人を1km運ぶときに排出するCO₂量の比較(2005年度)(交通エコロジー・モビリティ財団「運輸・交通と環境2007年版」より)

ポイントがたまる!インターネット列車予約

パソコンから
<http://www.jrkyushu.co.jp/>

携帯電話から
<http://jrkyushu.co.jp/mobile/>



境内のサインを改修



伊勢神宮の天照大御神は、
宗像三女神の親神様です



**祈願殿外壁に
神宮式年遷宮パネルを設置**

祈願殿の表参道側に、来る平成二十五年齋行の神宮式年遷宮をPRする看板を設置致しました。上段には、神宮司庁よりお借りした「古殿地と新宮の写った内宮の空撮」と「内宮御正殿」を組み合わせた伊勢神宮のパネルを、下段に「辺津宮本殿」に「沖津宮」「中津宮」の宗像三宮を組み合わせたもので構成されています。

伊勢の神宮と宗像大社の関係を伝えながら、平成二十五年齋行の第六十二回神宮式年遷宮への奉賛を理解いただくことを願い制作致しました。ご参拝の折には是非ご覧下さい。

また、快く写真を提供いただきました神宮司庁広報室には厚く御礼申し上げます。

第一駐車場に境内図

参拝者の皆様がまず入る第一駐車場、その正面に縦・横三・六社の巨大な境内図を設置致しました。

当大社の境内は大変広く、本殿への案内はもとより、国宝八万点を収蔵展示する「神宝館」、古代祭祀の姿を今に伝える「高宮祭場」、神宮式年遷宮古材を賜り造営された「第二宮・第三宮」等見所盛り沢山。もつと多くの皆様にご利用見所、参拝スポットに足を延ばしていただこうと設置致しました。

施工後は、連日足を止め、見入っておられる参拝者の皆様をお見かけ致します。是非、自然豊かな境内を散策され、宗像大神様の御神徳を戴かれまますようご案内申し上げます。

ANAの
**搭乗券 2枚で、
元気になろう!**

九州・山口宇都宮管内

2008.8.18(月) → 11.10(月) ご搭乗分
プレゼントの引き換えは11月16日(日)まで

ANAの搭乗券2枚を専用台紙に貼付の上、九州・山口管内のリンガー・ハット・浜崎・ドラックイレブンにお持ちいただくと、それぞれ右記の商品をプレゼントいたします。

www.ana.co.jp/kyushu

新2弾 九州・山口管内
とんでいただく
いただきます
キャンペーン

	<p>とんでいただく 長崎ちゃんぽんセット</p> <p><small>※店内でのお食事に限ります。</small></p>	
	<p>とんでいただく ローズかつ定食^{*1}</p> <p><small>*1 当キャンペーン限定の商品です。 ※店内でのお食事に限ります。</small></p>	
	<p>とんでいただく ネイチャーメイド^{*2}</p> <p><small>*2 マルチビタミン&ミネラル 100粒入</small></p>	






主基地方風俗舞保存会研修旅行 沖縄の琉球文化に触れる



雰囲気を感じるこ
とができた。

七月三・四日の両日、主基地方風俗舞保存会(田中保政会長)の平成二十年度研修旅行が開催され、田中保政会長以下役員六名、当大社より葦津事務局長、吉野事務局員も参加し、沖縄の歴史と琉球王朝文化の一端に触れた。

一日目、沖縄琉球國一ノ宮である「波上宮」を正式参拝。未安宮司様より御案内いただき、御由緒や境内の説明を頂き、本土の神社とは基本的に同じだが、南国独特の

霧囲気を感じること
その後、旧海軍司令壕を見学、迷路のように掘りめぐらされた地下壕内には、昭和二十年六月十三日海軍沖繩守備隊司令官大田実少将が部下将兵とともに自刃した司令室や医務室、衣糧庫、発電室が残っており、一同当時の将兵の奮戦に思いを馳せた。また丘上の大田実少将以下多数の將



兵を祀る海軍慰霊碑を参拝、英霊の御霊に祈りを捧げた。
夕食時には沖縄料理を堪能するとともに、琉球舞踊を観賞、当大社主基地方風俗

公式ホームページ リニューアルのお知らせ

検索



宗像大社ホームページ
<http://www.munakata-taisha.or.jp/>

舞とは一味違ったものを感じ、皆熱心に舞踊を見詰めていた。

二日目は、首里城と玉泉洞を視察。首里城では、琉球王家の歴史・文化を観ることができ、改めて琉球独特の文化を感じた。

玉泉洞では、鍾乳石の美しさに感動し、暑さを忘れて洞窟内を散策し帰路について。

今回の研修を終え、歴史や伝統文化の継承の大切さを再確認し、今後主基地方風俗舞保存会の維持継承に意気込みを深めた。



スクラムを
組ませて
ください。

エネルギーに関する
ベスト・パートナーを目指します。

お客さまの声に、誠心誠意、耳を傾けること。エネルギーに関する様々なご要望をワンストップで受け止め、グループの総合力を駆使して対応させていただくこと。それが九州電力のエネルギー・ソリューション。私たちは、お客さまとガッチリとスクラムを組み、エネルギーという幅広いフィールドの中で、エネルギーの効率的利用やお客さま設備に関するアドバイスなどに柔軟に対応できるベスト・パートナーを目指します。



九州電力

ずっと先まで、明るくしたい。

<http://www.kyuden.co.jp/solution/index.html>

海開き

六月二十五日(水)、宗像観光協会(吉武邦彦会長)、玄海ホテル旅館組合(原重司組合長)主催の海開き神事が、今年は霧雨模様のため玄海魚市場で肱行された。

午前十時三〇分、葦津禰宜以下神職三名の奉仕で神事が始まり、



海難事故のないよう祈念した祝詞を奏上した後、大麻・切麻で神湊の砂浜を祓い清めた。

当日は宗像観光協会々々長、玄海ホテル旅館組合長をはじめ、水難救助所長ら海に関わる各関係者総勢十五名ほどが見守るなか玄海魚市場での祭典は滞りなく終了した。

その後神職が二手に分かれ、深浜海岸、鐘崎漁港、五月松原、江口浜、勝浦海岸など市内の各海水浴場へ向かい清祓を行い、全ての神事を終えた。

各海水浴は夏休みが始まると大勢の人で賑わうが、例年高波などで危険な目に遭われている方が多数いるとの事。

長き間に亘り玄界灘を見てきている宿泊先の方や地元関係者の方々の注意を軽視せず、宗像の海水浴場にて楽しい夏の思い出を作って頂きたい。



雅楽講習会

六月二十三日午後五時より当大社斎館で、福岡県神社庁雅楽部会(平木一吉会長・大宰府天満宮)主催による雅楽講習会が行われた。

当日は福岡県内各地より十四名が参加。龍笛、筆箏、鳳笙の三管に分かれ、「越殿楽」をはじめとする平調五曲と、太食調の「拔頭」の計六曲を合奏するなどの温習が行われた。

各神社の神職が集い演奏する事により、互いの技術を切磋琢磨し、雅楽の研鑽を行なうことが出来る貴重な時間であった。



情報、環境、ものをつなぎトータルにデザインします。

Think And Produce

株式会社ジーエータップ
 本社 / 〒812-0024
 福岡市博多区綱場町2-2 福岡第一ビル1F
 Tel 092-291-8801 Fax 092-291-8805
 東京事務所 / 〒102-0073
 東京都千代田区九段北1-13-1 九段中坂ビル3F
 Tel 03-3221-1735 Fax 03-3221-1736



暑中お見舞い申し上げます。

(続)

浜の寄物

228



いいただし

八百比丘尼の話をつづけよう。

「若狭国伝記」では若狭の者が十人ばかり船にのつたが、突然海が荒れ、漂流、島に流れ着いた。上陸してみると、金の楼門、玉の扉の豪邸があった。そこで接待を受けたが膳に出たのは人の姿をしたものの料理だったため、みんな恐れて食べなかつた。しばらくして風がおさまり、船に乗って帰ったが、そのうちの一人が、肉を袖の中にに入れて持ち帰った。家の女が、此肉を食べて、八百年間年をとらなかつた。其島は蓬萊島、肉は人魚とある。

「若耶群談」では、父親が、魚釣りに出かけ、顔の怪奇な魚を釣りあげた。食べないで棄てたら子どもが拾って食べた。これが人魚で八百歳まで生きた。貝原

益軒の「西北紀行」では、小浜に六人の福徳長者がいた。時々参会して宝物をくらべ競っていた。食膳もまた珍味を尽くした。ある時、人魚を料理したが多くの者は人魚を知らず、怪しい物として食べなかつた。一人がこの人魚の肉を五、六片、懐に入れて家に持帰り、妻子に見せて捨てようと思ひ隠していたら、娘が見つけて「人魚は菜になる」と聞いて食べた。その娘が八百年間生きた。



どれも海が舞台であること、人



ながすも人にかはらず。おどろきあさみで、二喉をば忠盛朝臣のもとへもてゆき、二喉をば浦人とりけり。忠盛朝臣おそれ思けるにや、すなはち浦人にかへしてければ、うらなきりくひけり。されどもあへてことなし。そのあじはひとことによりけりとぞ。人魚といふなるはこれといの物なるにや。魚にリュウグウノツカイというのがある。台風や地震に浮上する深海性の魚類である。それではないかと言う人もいる。

先述述べたように、これは人魚のモデルといわれるジュゴンではないかといわれ、沖繩にはジュゴンがいる。顔は豚のようであり、あのデンマークの人魚のような姿からはほど遠い(小浜の人魚像

もデンマークの人魚像がイメージされている)。鎌倉時代の説話集(一二五四)、古今著聞集の七二二には、「伊勢国別保の浦人・人魚を獲えて前刑部少輔忠盛に献上の事」には興味深いことが書かれている。伊勢国別保(三重県河芸郡)というところに前刑部少輔忠盛朝臣がくだつた時、浦人は毎日網を引いていたが、ある日大なる魚がかつた。「かしらは人のやうにありながら、歯はこまかにて、魚にたがはず、口さしいでて猿にたりけり、身はよのつねの魚にてありけるを、三喉(三匹)ひきだしけるを、二人してにないたりけるが、尾猶つちにおほくひかれてけり。人のちかくよりければ、たかくをめぐこえ人のごとし。又涙を

宗像大社 御神菓 調製

味噌せんべい・博多の四季

本舗 梅月堂

〒812-0029
福岡市博多区古門戸町1-11
TEL 092-291-2966

第五六四回 宗像大社歌会詠草

大野展男選 毎月25日メ切



【評】 孫なくば祖母にはなれず婆となるこのくやしさに赤き服買ふ赤い服に象徴される心境は複雑である。いい歌。

福津市 中央 池浦千鶴子

【評】 寺山の斜りに残る一本の古き木株が地蔵に見ゆる

宗像市 大島 杉田 禮子

【評】 信深きがゆえの一木一草皆仏の境地だらう。羨ましい。

宗像市 田久 巻 桔梗

【評】 ふるさとの弥彦神社を想ひつつ宗像さまにけふも詣でつ

宗像市 田久 巻 桔梗

【評】 弥彦神社は新潟県にあり祭神は天香山命である。故郷新潟を愛し神を敬い歌にうち込む作者が見える。

宗像市 日の里 大和美由紀

【評】 新緑の枝のおぼいし隠沼に間延びし声で牛蛙鳴く

宗像市 日の里 大和美由紀

【評】 初夏の原風景とも言える一首。隠沼がいい。

福津市 若木台 野間 精一

【評】 鉢底の水抜き穴より根を下ろし宮城野萩は花つけ初めぬ

福津市 若木台 野間 精一

【評】 植物のもつ生命力、それは小さくなつた鉢の植え変えを怠つた主への抗議でもある。

宗像市 田久 井上 光

【評】 似我蜂が地を這い回り逆立ちて穴掘りはじむ暑き日差しに

宗像市 田久 井上 光

【評】 じが蜂の生態をうまくとらえた一首である。

北九州市 八幡西区 吉田ウト子

【評】 業平忌母の忌だよねトトギス汝と植えいしアマリス見ませ

北九州市 八幡西区 吉田ウト子

【評】 業平忌(陰曆五月二十八日)は、また母の忌でもあり老いの日の感傷である「アマリス息もふかけに燃ゆるときふと唇をさしあてしかな」と詠つたのは若き日の白秋である。

【評】 久びさの友の電話は入院を告ぐるものにて言葉失ふ老いるとは何かを一つ二つと失つてゆくものである。ここでは健康である。

宗像市 東旭ヶ丘 天野 玲子

【評】 北九州市 戸畑区 田中ハツセ

【評】 葬送の兄の写真は亡き母に会ひたる如し一瞬とまどふ一首の背後には、兄が相当の齢であつたことをうかがわせ無常感すら漂ふ。

宗像市 田野 森 甲子

【評】 梅雨風に大き木の樹揺れゆれて声のするどく杜鵑鳴く

宗像市 田野 森 甲子

【評】 ほととぎすは魂迎鳥とも呼ばれ、うっかり寝ていてその声を聞きもしたら、魂が遊離してしまうと思はれた時代もあつた。強風のなか、しつかりと聞き止めた作者はまだまだ大丈夫だ。

うきは市 浮羽町 向 則正

【評】 一年ぶり子と帰省せし長男の髪に白きが目立ち始むる

宗像市 光岡 森田富佐子

【評】 上句は「一年ぶり帰りがたりし長男の」ではないか、長男の苦勞をおもんばかる作者である。

宗像市 光岡 森田富佐子

【評】 良くなつく犬の啼く声聞き取りて昼寝の友はとび起き顔やる

宗像市 光岡 森田富佐子

【評】 犬になぐさめられている友であろう。孤独感がある。

福岡市 南区 井田有久衣

【評】 霧ふかき箱根奥宮めざしゆく流れる雅楽に魅せられながら

福岡市 南区 井田有久衣

【評】 私もこんな場面に接して見たい風景である。

宗像市 光岡 則松 芳子

【評】 緑濃き季節となりて朝々を雀の子等の飛行訓練

宗像市 光岡 則松 芳子

【評】 雀に対する優しい目差しがあり、素直な詠い方がいい。

福岡市 柏原 加野シノブ

【評】 泪雨友の訃報をつたえ来る我より若くかしき人の

福岡市 柏原 加野シノブ

【評】 哀感のある歌なのだが、泪雨の一首に付きすぎて歌を歌謡調にしていて惜しい。「雨の夜を友の訃報をつたえ来ぬ」がいい。

選者詠

餌欲ると餌与へんとけたたまし百舌の親仔は梅のしげみに親百舌は飛べと言ふごと屋根に啼く口に余れる虫を啣へて菓立ちたる今年の百舌か朝々をお礼参りのごとく来て啼く

第五三九回 俳句作品集

宗像市 光岡 白土 凌一
麦をかり田植え待つかな農夫たち
宗像市 東郷 田中 憲象
蛸壺の底の明るし口なりに

宗像市 田久 巻 桔梗
梅雨入りや二十歳も若き古希の肩

宗像市 日の里 花田いつ枝
三日違ひの植田の色目異にして

8月祭事暦

毎月1-15日 月次祭
午前10時～ 高宮祭・第二宮祭
宗像護国神社祭(1日)
午前11時～ 総社祭
浦安舞奉奏(1日)
豊栄舞奉奏(15日)
7日 中津宮七夕祭
午後7時～ 於=筑前大島 中津宮
15日 宗像護国神社千灯明祭
午後7時～ 於=宗像護国神社

編集後記 さあ北京オリンピックが開幕です。ところが、どなたに聞いてもいつから始まるのか分かっておりません。果たして、どんなオリンピックとなるのでしょうか。八月八日開幕です。また、春の讀者「沖繩尚学」を象徴に、春の出場校が続々と予選で姿を消し開幕する第八十回記念大会の甲子園も注目です。そして神界では太宰府・宗像合同チームの連覇がかかる「東西神社野球大会」が東京神宮球場で開催されます。当大社からも何人かの神職が向出し活躍する。予定です。例年より早く梅雨明けし、連日酷暑が続いておりますが、どうぞ「自愛下さい。」(塚)

宗像大社社務所 発行所

〒811-3505 福岡県宗像市田島
電話 0940-62-1311(代)
発行人 葦津幹之
編集人 大塚宗延
制作 セネラルアサヒ
印刷 セネラルアサヒ

毎月1日発行 定価1年送料共1,000円